

キミの提案が、すみだを守る
主催：首都防災ウィーク実行委員会

応募締切を8月5日(水)に変更しました。

【全体予定(今後も変更する場合があります)】

最新の内容は、ドキュメント版をご覧ください(<https://x.gd/xczwC>)

●6月オンライン勉強会 19:30～20:30 内容:各テーマの概要の説明、資料の案内、質疑

<https://us02web.zoom.us/j/3782787584>(パス 39)

・6月16日(火) マンション防災 講師 鍵屋 一(当会副代表、跡見学園女子大学教授)

・6月17日(水) 住まいの耐震補強 講師 鍵屋 一(当会副代表、跡見学園女子大学教授)

・6月20日(土) 災害瓦礫と人工海底山脈 講師 鈴木達雄(人工海底山脈開発者、工学博士)

※事前に準備した質問があれば、次の Google フォームにお書きください。

<https://forms.gle/yGepbqLYsb6wNcNu5>

●8月5日(水)応募締切 次の Google フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/51upi1CogecgPYAU9>

●8月18日(火)第一次審査結果発表 公式サイトに掲載します。<https://shutobo.net/>

●8月23日(日)第二次審査資料締切 次のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/51upi1CogecgPYAU9>

●8月25日(火)10:00-17:00 第二次審査(東京都慰霊堂)

1チーム 15 分目途(7分間説明、8 分間質疑)

●8月30日(日)最終審査結果発表 公式サイト

●9月 6日(日)13:00-13:50 記念式典:表彰式、副賞贈呈。

14:00-17:00 防災フォーラム グランプリ3チームは登壇し、発言をいただきます。

【首都防災ウィークについて】

首都防災ウィークは、関東大震災90周年の2013年、防災に関わる専門家、企業など多くの関係者が集い、過去の大震災の体験を学び、伝え、迫りくる次の大震災の被害を軽減するために始められました。今年で14年目を迎えます。

【墨田区中高生政策提案チャレンジについて】

首都直下地震や南海トラフ巨大地震、東北・北海道東縁巨大地震などが切迫しています。

墨田区には、地震、水害、木造住宅密集地域、マンション防災など、さまざまな防災課題があります。

このチャレンジでは、墨田区の中高生のみなさんが、自分の住む地域や暮らしを見つめ直し、「どうすれば、わが家と自分たちのまちを守れるのか」を考え、提案していただくことが目的です。

この企画は、単なる作文・論文コンテストではありません。

ご家族、学校の先生、地域の方々、行政担当者などとの対話や調査を通じて、「防災を自分事、自分のまちのこととして考える」きっかけとなり、地域の防災力が高まることを願っています。

防災について詳しくなくても大丈夫です。

まずは、自分の家や地域を見つめるところから始めましょう。

【募集テーマ】三つのテーマのうち、一つを選んでください。

墨田区には様々な防災課題がありますが、今回は、大地震の際に直ちに表面化する三つを取り上げます。

(1)マンション防災

(2)住まいの耐震補強

(3)災害瓦礫と人工海底山脈

※ 詳細な説明は後半を参照してください。

【応募部門】

次のどちらかを選んで下さい。

1 中学生部門

身近な地域防災や生活防災について、自分の気づきや、家族や地域との対話をもとに、地震被害を減らす提案を行ってください。

2 高校生部門 ※中学生でも、高校生部門に挑戦することができます。

住まいや地域の問題点や制度・政策・地域連携などについての調査・分析をもとに、地震被害を減らす政策提言を行ってください。

【応募対象】 墨田区内の中学校・高等学校に在学中の生徒(個人・グループどちらでも応募可能)

【応募方法】 8月5日(水) 応募締切(必着)

選択したテーマについて、次のフォームに、作文・小論文、調査メモを送ってください。

<https://forms.gle/51upi1CogecgPYAU9>

1 基本事項 氏名・学校名・学年・住所・連絡先(電話番号、メールアドレスなど)

2 作文・小論文(Google ドキュメント、WORD、PDF など) 長さは目安です。

●中学生部門:作文・提案文 1000 字～2000字程度

●高校生部門:小論文 1500 字～4000 字程度

※中学生でも高校生部門に挑戦できます。

Google ドキュメントなどには、写真、図表、イラストなどを入れてもかまいません。

動画、音楽、アニメは入れないでください。

動画などの制作技術ではなく、提案内容を総合的に評価するため。

3 調査メモ(Google ドキュメント、WORD、PDF など)

次の内容のメモを添付してください(入賞者以外は内容を公開しません)

公開する場合には、プライバシーに配慮します。

- ・ お話を伺った方がいれば、日時、どなたに伺ったかなど。
- ・ 見学した施設などがあれば、訪問日時、施設名など。
- ・ 印象に残った言葉や出来事、気づきなど。
- ・ 参考にした資料、文献など。
- ・ その他

【AI の活用について】

・AI は活用して構いません。

・ただし、AI 活用の有無にかかわらず、本企画ではご家族、地域の方々、学校の先生、行政担当者などとの対話や調査を通じて得られた、「自分らしい気づき」や「実際に感じたこと」を重視します。

■二次審査 8月25日(火)10:00～16:00 東京都慰霊堂(墨田区横網 2 丁目 3-25
(03-3623-1200))

一次審査通過者に、公開でプレゼンテーションを行っていただきます。

1チームプレゼンテーションは7分以内(発表後、8分間程度の質疑予定)

- 8月23日(日)までに送っていただいたデータを当方のPCに入れます。

皆さんご自身で操作してください。

24日(月)15:00-16:00、25日(火)9:30~10:00はパソコン操作の練習ができます。

なお、プレゼンと質疑の様子は撮影し、全審査委員に共有します。

【評価のポイント】

第一次審査の評価ポイントは次です。

1 自分らしさ 2 地域とのつながり 3 斬新さ 4 有効性 5 熱意・波及力

第二次審査では、第一次審査の評価点①に加え、②第二次審査資料(Google スライドなど)、③プレゼンの仕方と質疑内容を総合的に評価します。

【応募者・作品の発表について】

■内容

- 1 全応募者名・学校名・学年・応募作品タイトル、
- 2 入賞作品と調査メモ(プライバシーは保全します)

■媒体

- 1 首都防災ウィーク公式サイト <https://shutobo.net/>
- 2 第14回首都防災ウィーク記念冊子(令和9年3月刊行予定)
- 3 記者発表資料(要点のみ)

【授賞式】令和8年9月6日(日)13:00~13:50 第14回首都防災ウィーク記念式典(東京都慰霊堂)

グランプリ・準グランプリ・チャレンジ賞(入賞者以外の全応募者)などを表彰予定

【副賞(検討中)】QUOカード、多彩な防災グッズ(携帯トイレ、停電時に点灯する電灯など)

応募者全員に副賞を差し上げます。

確定次第、発表するので、お楽しみに。

【防災フォーラム】9月6日(日)14:00~17:00

グランプリ受賞チームは、各テーマのフォーラムへ登壇し、ご発言いただきます。

がんばってください。

【3つのテーマの説明】

1.マンション防災 中高層住宅では、大地震でエレベーターが止まり、水や電気が使えなくなる危険があります。高層では家具の転倒も危険です。日ごろから水や食料、簡易トイレを備え、お互いに助け合う関係づくりが大切です。古いマンションは、大地震で倒壊する可能性があります。この点を深掘りする記述でも構いません。マンション防災では、在宅避難を前提としているので、マンション居住者の高齢者や障がい者など介護等が必要な方をどう支援するかも重要です。



「在宅避難イメージ」 青木義男氏提供



大阪府北部地震 マンションの6階 震度6弱
2018年6月18日7時58分 被災者提供

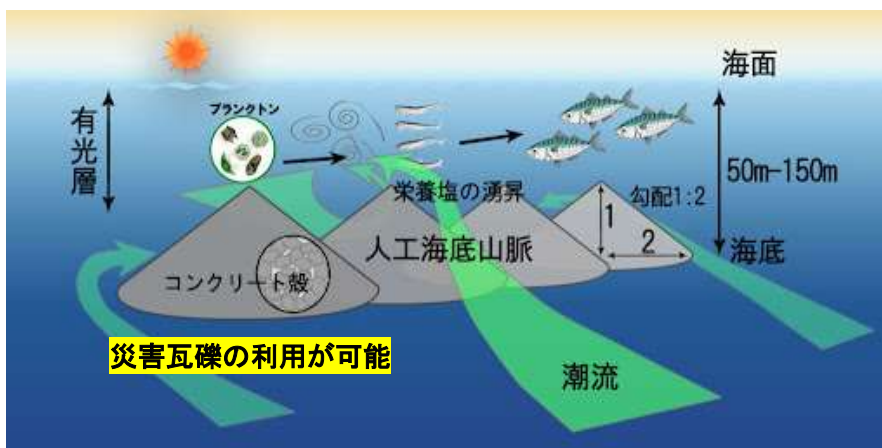
2. 住まいの耐震補強 古い木造住宅は、大地震で倒れやすい。これまでの大地震では、多くの方が家の下敷きで亡くなったり、火災が起きて地域全体に被害が広がりました。耐震補強で家を強くすれば、命を守ることができ、地域社会を守ることができます。また、家具の固定など室内の耐震対策も重要です。



能登半島地震の輪島市中心市街地

2024年1月24日 鍵屋一氏撮影

3. 災害瓦礫と人工海底山脈 大震災では、災害瓦礫が大量に発生し、応急対応、復旧、復興を妨げます。現在、コンクリート瓦礫(コンガラ)はお金と時間をかけて粉砕し、再利用しています。平時に発生するコンガラを含め、建物から大割(おおわり)のまま切り出して、都市の資源として海域活用(人工海底山脈)すれば、迅速な復興と海の食料増産という一石二鳥になります。この構想は新しいテーマなので、政策提言の色彩が強くなりますが、がんばって挑戦してください。



災害瓦礫と人工海底山脈の

イメージ図 鈴木達雄氏提供

「シティコン海底山脈」で魚を増やす「創造的復興」のご提案について(案). 石川県知事提案資料.

首都防災ウィーク実行委員会
2024年2月13日.一部改変

【参考文献】

テーマ1 マンション防災

墨田区マンション防災

https://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/zyuutaku/bousai/manshon_bousai.html

東京都マンション防災

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kyojyo/1023239/index.html>

鍵屋「過去の地震から学ぶ マンションの防災・減災対策」

https://www.mansion-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/pdf/33saisei-seminar/mansion_seminer2025_1.pdf

テーマ2 住まいの耐震補強

墨田区耐震化事業

https://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/funenka_taishinka/taishinka/index.html

達人塾ネット

<https://tatsujinjuku.net/pdf/panf-g.pdf>

「避難生活も考えて耐震化」命を守るための耐震化進む 高知・黒潮町

<https://www.youtube.com/watch?v=tznqFCrkoZw>

テーマ3 災害瓦礫と人工海底山脈

1 動画1 「不毛な海を豊かにする人工海底山脈」(4分16秒)

<https://www.youtube.com/watch?v=ypEq5FljcPQ>

2 動画2 「AI 対談 シティコン海底山脈 探求」(7分4秒)

https://www.youtube.com/watch?v=odC2JHHY_iU

3 『「シティコンで建設する海底山脈プロジェクト」の提案』(2021年12月、91人の有識者の共同提案)

4 「国立環境研究所報告書(AI要約版)」(2026年3月31日)

5 石川県知事への緊急提案「コンクリート塊を活用して海産物を増やす『創造的復興』の提案」(2024年2月)

【質問・連絡先など】

・本プロジェクトへの質問は次のフォームをお願いします。

<https://forms.gle/yGepbqLYsb6wNcNu5>

・FAQ(よくある質問と回答)は次です。

<https://x.gd/WgZiz>

・メールアドレス : seisaku-pt@googlegroups.com

・電話 : 080-7991-4761 (首都防災ウィーク実行委員会事務局)

【審査委員】

中林一樹 首都防災ウィーク代表、東京都立大学名誉教授

板垣喜代子 弘前医療福祉大学教授(本企画プロジェクト・マネージャー)

浅野史郎 首都防災ウィーク副代表、福祉防災コミュニティ協会会長、元宮城県知事

有川太郎 中央大学教授

池野一成 首都防災ウィーク音響・映像事業部長、エースワン代表取締役

石川永子 横浜市立大学教授

市川啓一	レスキューナウ危機管理研究所代表取締役
岡野谷 純	首都防災ウィーク副代表、NPO 東京いのちのポータルサイト理事長、NPO 日本ファーストエイドソサエティ理事長
鍵屋 一	首都防災ウィーク副代表、跡見学園女子大学教授
木谷正道	首都防災ウィーク副代表・事務局長、NPO 暮らしと耐震協議会理事長
佐藤 央	日本防災スキーム代表
佐原滋元	一寺言問を防災のまちにする会副会長、すみだ NPO 協議会事務局
澁谷和久	関西学院大学教授、前在チリ大使、元内閣官房・内閣府・国交省
鈴木達雄	人工海底山脈研究所長、人工海底山脈開発者、工学博士
高橋正征	東京大学名誉教授、日本科学協会会長、日本水産資源保護協会会長
中島恵子	桜東京パイロットクラブ会長
西川 智	東北大学災害科学国際研究所特任教授、JICA 国際協力専門員、名古屋大学客員教授
原 香織	首都防災ウィーク事務局次長、みらくる TV 番組編成部長
久田嘉章	工学院大学教授
藤村望洋	俳人、東京いのちのポータルサイト副理事長
宮本伸子	UIFA Japon(国際女性建築家会議日本支部)
三輪清隆	東京家政大学付属女子中高非常勤講師、ネット社会と子どもたち協議会運営委員
村上敬丈	東京難病団体連絡会ピア相談員、大田区パーキンソン病友の会
森山育子	墨田区観光協会理事長
山本耕平	NPO 雨水市民の会理事長、日本トイレ協会会長、ダイナックス都市環境研究所取締役会長
吉田 誠	東京東信用金庫理事長